

計画の体系

総合目標

基本目標

施策の方向

基本施策

あなたらしく
わたしらしく
暮らせるまち

I 意識づくり 多様性を尊重する	1 男女が個人として尊重される人権意識の普及啓発	(1) 男女共同参画意識を高めるための広報・啓発を行います (2) 性別による固定的役割分担意識の見直しを進めます
	2 男女共同参画を推進する教育と学習の充実	(1) あらゆる世代が男女共同参画を学べる機会を充実します (2) 男女共同参画に関する情報を収集・調査し発信します
II 社会づくり 男女がともに支えあふ	3 政策・方針決定過程における女性の参画促進	(1) 政治・行政の政策・方針決定過程への女性の参画を促進します (2) 企業や団体等の方針決定の場における男女共同参画を促進します (3) 人材の育成とネットワークづくりを進めます
	4 地域社会における男女共同参画の推進	(1) 地域活動等における身近な男女共同参画を促進します (2) 防災分野における男女共同参画を促進します (3) 多様な人材の社会活動への参画を促進します
III いきいきと働くことが出来る環境づくり 環境づくり	5 職域における男女の均等な機会と待遇の確保	(1) 雇用等における男女の均等な機会と待遇を確保します (2) 自営業等における男女共同参画を促進します
	6 ワーク・ライフ・バランスの推進	(1) ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくりを推進します (2) 家庭生活における男女共同参画を促進します (3) 子育て、介護のための社会的支援を充実します
	7 多様な分野での女性の活躍の推進	(1) 女性のスキルアップ機会を充実します (2) 女性のチャレンジを支援します (3) 性別により職域を限定しない働き方を支援します
「女性活躍推進法」に基づく推進計画		
IV 安心して暮らせる環境づくり	8 あらゆる暴力の根絶とサポート体制の充実	(1) 女性に対する暴力を防ぐ環境を整えます (2) 相談体制、サポート体制を充実します
	9 生涯を通じた健康づくりの推進	(1) 性差に対する理解と生涯を通じた健康づくりを促進します
「DV防止法」に基づく基本計画		

第2次

酒田市男女共同参画推進計画 ～ウィズプラン～ 【後期計画】

概要版

計画期間：2024～2028年度

総合目標

「あなたらしく わたしらしく 暮らせるまち」

まわりの人のことも、自分自身のことも認め合い、
その能力を最大限発揮できるまちを目指します。



男女共同参画社会って？

あなたは、自分で「生きにくい」と思ったことはありませんか。
それは、あなたが女性だからですか。
男性だからですか。
高齢者だからですか。
若者だからですか。

男女共同参画社会は、性別や年齢、国籍、障がいの有無などにかかわらず、すべての人が個人として尊重され、多様な生き方を選択でき、認め合える社会です。

すべての市民の「生きにくい」を取り除き、「生きやすい」社会にしてい
ため、ここに

第2次酒田市男女共同参画推進計画～ウィズプラン～【後期計画】
を策定しました。

みんなで力を合わせて、男女共同参画社会を実現しましょう！

第2次酒田市男女共同参画推進計画～ウィズプラン～【後期計画】

概要版

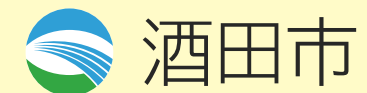
発行 令和6年(2024年) 4月

編集 酒田市 市民部 共生社会課 男女共同参画推進センター ウィズ
〒998-0044 山形県酒田市中町三丁目4番5号(交流ひろば内)
TEL:0234-26-5616 FAX:0234-26-5617 E-MAIL:kyousei-with@city.sakata.lg.jp

酒田市ホームページ
男女共同参画



酒田市自分らしく
を応援する
ポータルサイト



基本目標 I 多様性を尊重する意識づくり

【酒田市のイマ】

「夫は仕事、妻は家庭」といった、性別による固定的役割分担意識^{※1}について、約6割が否定的！性別ではなく、個人の資質により役割を決めていこうという柔軟な考え方が広がってきています。しかし、様々な場面で男性が優遇されていると感じる割合は依然として高い状況です。

【酒田市のミライ=基本目標 I の達成に向けて】

- アンコンシャス・バイアス^{※2}（無意識の思い込み）への気づき・解消を促します
- 男女共同参画や多様性について考える機会、学べる機会を多く設定します
- 男女共同参画を推進していく人材の育成を図ります

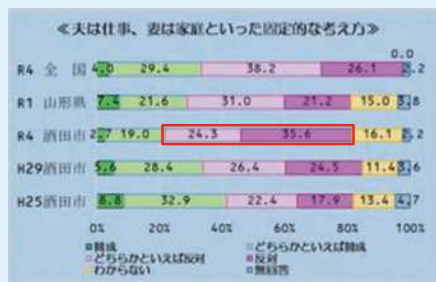


【成果指標】・ジェンダーによる不平等を感じる割合
52.8% (2022年) ⇒ 40.0% (2027年)

性別で分ける必要がある？

【みんなで考えてみよう！】

家庭で、地域で、学校や職場で、男だから、女だからという理由で役割を決めてしまっていないか？男性、女性と「ひとづくり」にしないで、その人の個性や資質を尊重しましょう。性別に関係なく、誰にだって、向き、不向きってありますよね。



※R4市民アンケート

基本目標 III いきいきと働くことができる環境づくり (女性活躍推進計画)

【酒田市のイマ】

夫婦共働きが多く、女性の就労割合が高い本市ですが、非正規雇用で就労する女性が多く、平均給与収入も男性を100とした場合に女性は64と男女間で差がみられます。

【酒田市のミライ=基本目標 III の達成に向けて】

- 企業等と連携して「日本一女性が働きやすいまち」の実現および男性にとっても働きやすい環境づくりを進めます
- 仕事と家庭を両立できる環境を整えます
- 女性のスキルアップや多様な働き方を支援します



【成果指標】・職場における男女の不平等を感じる割合
59.3% (2022年) ⇒ 40.0% (2027年)
・家庭における男女の不平等を感じる割合
59.1% (2022年) ⇒ 40.0% (2027年)

働きたいを叶えたい！

【みんなで考えてみよう！】

結婚、妊娠、出産。貴重なライフイベントが、働き続けたい女性にとって悩みの種になるなんて、おかしなことですよ。もちろん、家族と話し合い、自分が心から納得したうえで仕事をやめる決断をしたなら、それはとても尊い決断です。でも、本当は働き続けたいのに辞めざるを得ないというのは、すごく不幸なことです。女性も男性も、誰でも人生は一度きり。誰かの犠牲の上に成り立っているような仕組みは、変えていかなくてはなりません！



※R2国勢調査より



※庁内把握



【ウイズ講座】
LGBTQ+&SOGIを知ろう！



【ウイズプラン
市民ワークショップ】



あなたらしく、わたしらしく。



【市民フォーラム H29.10.1】
「日本一女性が働きやすいまち」
を目指す宣言



【女性に対する暴力をなくす運動】
パープルライトアップ

基本目標 II 男女がともに支えあう社会づくり

【酒田市のイマ】

審議会等の委員の女性割合は年々着実に向上してきていて、2021年によやく3割を超え、2022年は34.5%で県内市町村ではトップです。自治会長の女性割合は1%台で推移していて、県内の市町村平均や全国の市町村平均を下回っています。

【酒田市のミライ=基本目標 II の達成に向けて】

- 組織等の政策・方針決定過程への女性の参画を促進します
- 男女がともに担い育む地域活動を促進します
- 多様な人材が社会参画できる環境を整えます

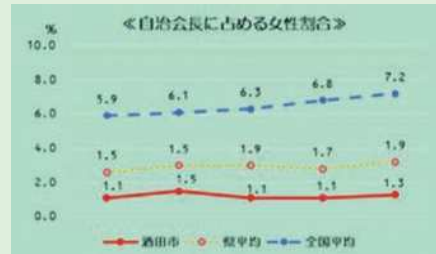


【成果指標】・審議会等委員への女性の登用率
34.5% (2022年) ⇒ 40.0% (2027年)

意見反映には黄金の3割？

【みんなで考えてみよう！】

「黄金の3割」という考え方があります。ある集団の意思決定に影響を与えるためには、意思決定場面に同じ属性が3割以上必要なのだとか。例えば、自治会の方針を決める場面に女性が3割以上いない場合、その自治会の方針に女性の考えは反映されにくいということ。自治会だけではなく、生徒会で、PTAで、審議会や会社でも。物事を決める場面に、女性が3割以上いますか？



※内閣府公表資料より作成

基本目標 IV 安心して暮らせる環境づくり (一部DV対策基本計画)

【酒田市のイマ】

DV^{※3}被害にあったことがある割合は5.8%、ストーカー行為、セクハラ被害も、それぞれ4.6%、7.2%となっています。その被害者のうち9割は女性です。また、被害にあっても4割の方はどこ（誰）にも相談していませんでした。特に男性は一人で抱え込む傾向が強いようです。

【酒田市のミライ=基本目標 IV の達成に向けて】

- DV等の暴力の新たな加害者も被害者も生まないために、正しい知識の普及と啓発を行います
- 被害者が安心して相談できる窓口の存在を周知します
- 性差に対する理解と心身の健康づくりを促進します

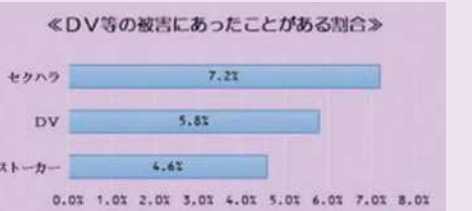


【成果指標】・DV被害にあったことがある割合
5.8% (2022年) ⇒ 1.3% (2027年)
・上記被害者のうちどこにも相談しなかった割合
43.5% (2022年) ⇒ 25.4% (2027年)

自分の意見を言えますか？

【みんなで考えてみよう！】

あなたはパートナーに自分の意見を言えますか？パートナーの意見に耳を傾けていますか？夫婦やカップルは、お互いが対等な関係なはず。DVが発生するような関係は、対等な関係とは言えない状態。DVは人権侵害であり犯罪です。被害が深刻にならないうちに、早めに関係機関に相談してください。



※内閣府公表資料より作成

※1 性別による固定的役割分担意識…近代社会において形づけられてきた、性別で役割を決め付ける固定的な意識。 ※2 アンコンシャス・バイアス…人が経験則によって気づかぬうちに持つようになった無意識の思い込みや偏った考え方。 ※3 DV…ドメスティック・バイオレンス。配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力。身体的な暴力だけでなく、言葉の暴力や性的暴力、経済的暴力など、様々な形の暴力が含まれる。恋人間で発生するDVを特に「デートDV」と呼ぶ。